

2013年7月1日発行

第570号(通算)

発行:奇数月1日

会員購読料:1月10円(年間60円)

一般購読は別途送料

環境づくり・健康づくりのコミュニティ情報紙

環境と健康

発行者

一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会

近光 章

広島市中区広瀬北町9番1号

郵便番号 730-8631

電話 082-293-1511番

振替口座01380-2-27511

URL http://www.kanchokyo.or.jp/

この解決策の一つに、
現在、わが国の65歳以
上の人口が総人口に占
める割合は21%を超
えており、世界に類のない
超高齢社会となっています。
超高齢社会を迎える
ということは、介護の負
担の増加、労働人口の減
少、地域社会の変化、福
祉サービスの低下といつ
た課題をもたらします。

健康長寿支援事業スタート 超高齢化社会への挑戦

| | 平均寿命 | 健康寿命 (日常生活に制限のない期間) | 差 |
|----|--------|------------------------|--------|
| 男性 | 79.91歳 | 70.22歳 | 9.69年 |
| 女性 | 86.64歳 | 72.49歳 | 14.15年 |

当協会では、超高齢社会がもたらす新しい公衆衛生への課題を解決するため、今年度から健康長寿支援事業を開始します。

元気な高齢者を増やすためには、平均寿命と

広島県の場合、左表のよくなデータがあります。

元気な高齢者を増やすためには、平均寿命と

元気な高齢者を増やすためには、平均寿命と

元気な高齢者を増やすためには、平均寿命と

元気な高齢者を増やすためには、平均寿命と

当協会では、超高齢社会がもたらす新しい公衆衛生への課題を解決するため、今年度から健康長寿支援事業を開始します。

元気な高齢者を増やすためには、平均寿命と

元気な高齢者を増やすためには、平均寿命と

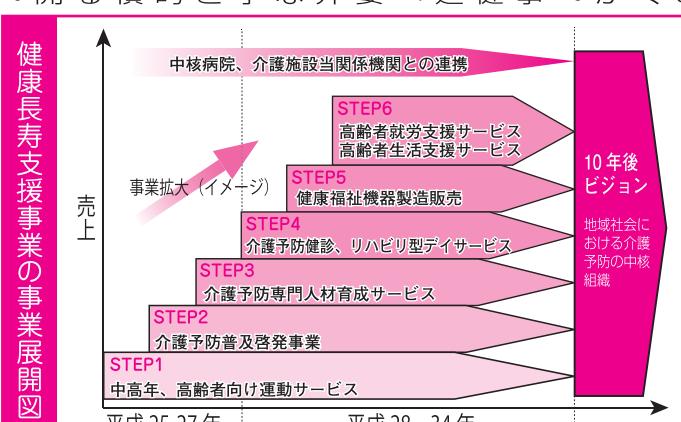
元気な高齢者を増やすためには、平均寿命と

元気な高齢者を増やすためには、平均寿命と

元気な高齢者を増やすためには、平均寿命と

元気な高齢者を増やすためには、平均寿命と

元気な高齢者を増やすためには、平均寿命と



始します。まず、本年8月1日から、「ファン・ドゥ・フィットネス【かんほきょう】」と称する、女性向けのフィットネススタジオを広島市西区にオープンし、順次拡大し、それぞれの公衛協を通じて元気な高齢者を増やす事

を提供することから開始します。

健康寿命の差を小さくする必要があります。そこで本事業では、健康寿命を延ばすこと、すなわち要介護状態にならぬよう、支援・介護状態にいたり続ける運動習慣を実現することを目的とした継続的な運動習慣を提供することから開始します。

健康寿命の差を小さくする必要があります。そこで本事業では、健康寿命を延ばすこと、すなわち要介護状態にならぬよう、支援・介護状態にいたり続ける運動習慣を実現することを目的とした継続的な運動習慣を提供することから開始します。

健康寿命の差を小さくする必要があります。そこで本事業では、健康寿命を延ばすこと、すなわち要介護状態にならぬよう、支援・介護状態にいたり続ける運動習慣を実現することを目的とした継続的な運動習慣を提供することから開始します。

健康寿命の差を小さくする必要があります。そこで本事業では、健康寿命を延ばすこと、すなわち要介護状態にならぬよう、支援・介護状態にいたり続ける運動習慣を実現することを目的とした継続的な運動習慣を提供することから開始します。

健康寿命の差を小さくする必要があります。そこで本事業では、健康寿命を延ばすこと、すなわち要介護状態にならぬよう、支援・介護状態にいたり続ける運動習慣を実現することを目的とした継続的な運動習慣を提供することから開始します。

健康寿命の差を小さくする必要があります。そこで本事業では、健康寿命を延ばすこと、すなわち要介護状態にならぬよう、支援・介護状態にいたり続ける運動習慣を実現することを目的とした継続的な運動習慣を提供することから開始します。

これまで、女性向けのフィットネス【かんほきょう】と称する、女性向けのフィットネススタジオを広島市西区にオープンし、順次拡大し、それぞれの公衛協を通じて元

気な高齢者を増やす事

を提供することから開始します。

これまで、女性向けのフィットネス【かんほきょう】と称する、女性向けのフィットネ斯スタジオを広島市西区にオープンし、順次拡大し、それぞれの公衛協を通じて元

気な高齢者を増やす事

を提供することから開始します。

これまで、女性向けのフィットネス【かんほきょう】と称する、女性向けのフィットネ斯スタジオを広島

加工施設を訪問した。台車を製造している食肉加工会社で、フランスではナチュラルチーズを製造している乳製品製造施設で、イタリアで工場設置された。フランスでは、ヨーロッパの品味は「級品」、日本は舌鼓を打ちながら、質疑応答に耳を傾けた。



社内の教育訓練や外専門家によって従業員部に衛生教育を実施。ワイン工場では検品ボイントが張り出している。ハム工場の手洗い場(左上)と、製品(右上)。

い。行政機関と連携を図りながら実施していくのか、非常に有意義であった。当協会においても業務を通じ、県民の生活の安全・安心をどのように確保していくのか、

衛生管理システムの導入・運用は使命

食品の安全・安心の確保に向けて

欧洲
食品衛生調査団
に参加して 下

食品検査課 和田 貴臣

視察後、すべての施設で質疑応答の時間が設けられ、そこで試食・試飲が行われた。調査団だけではなく、味も体験することができた。さすがヨーロッパ、どの品味は「級品」、日本は舌鼓を打ちながら、質疑応答に耳を傾けた。

さて、本題の衛生管理の状況について述べる。現在EU(欧州連合)内では、全ての食品事業者はHACCPシステム導入が義務化されている。今回訪問した3施設においても同様である。各施設へ次のような内容の質問を投げかけてみたところ、なかなかユニークな回答が返ってきた。

① HACCPシステム導入についての消費者へのPR活動について

② 消費者からの衛生面でのクレームについて

③ 従業員への教育訓練について

④ HACCPシステムの運用を維持できている理由である

⑤ 従業員への健康被害を防ぐために、農薬の使

用方法についても

HACCPの教育訓練の中に盛り込んでいる

ことのことであった。

これがHACCPシステムの運用を維持できている理由である

と感じた。ワイン工場では従業員への健康被害を防ぐために、農薬の使

用方法についても

HACCPの教育訓練の中に盛り込んでいる

本館屋上の緑化スペース



度の成果を集計した結果、この度、計画の最終年度にあたる平成24年度の意の定着と事業活動で排出される温室効果ガスの削減に努めてきました。(計画の概要は下表参照)。

当協会は、平成22年

3月に『脱温暖化推進計画』を策定して以来、

さまでさまざまな取り組みを通じて、役職員の省エネ意識の定着と事業活動

3月に『脱温暖化推進計画』を策定して以来、

さまでさまざまな取り組みを通じて、役職員の省エネ

意識の定着と事業活動

CO₂基準年から10.9%削減

空調改修やLED照明に投資

環保協

目標を達成するためには、休み時間の消灯や退席時のパソコンのOFFなど、個人で取り組む省エネ行動だけでは限界があるため、設備への投資を積極的に行ってきました。計画期間の4年間で、投資した額は、およそ1億7千万円でした。21年度から毎年度導入しているLED照明は、今年度の施工分で力年度に投資した額は、およそ1億7千万円でした。

当協会は、平成22年3月に『脱温暖化推進計画』を策定して以来、さまざまな取り組みを通じて、役職員の省エネ意識の定着と事業活動で排出される温室効果ガスの削減に努めてきました。(計画の概要は下表参照)。

～環保協脱温暖化推進計画の概要～

| | |
|-------------|--|
| 対象とする温室効果ガス | 二酸化炭素(CO ₂) ※削減するエネルギーは、電気・ガス・ガソリン・軽油・重油 |
| 基準年 | 平成20(2008)年度 |
| 計画期間 | 平成21(2009)年度から平成24(2012)年度 |
| 削減目標 | 基準年から10%削減 |
| 対象範囲 | 本部・東部支所・吉島分室 |

(経営管理センター)

『環保協・県衛連55年史』を発刊

この度、当協会は一般財団法人への移行を記念して、『環保協・県衛連55年史』を発刊しました。

55年史は、45年史(16年3月発行)後の

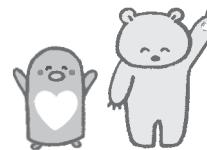


完成した「環保協・県衛連55年史」

10年の活動をまとめた『環保協10年史～環保協・県衛連45年史からその後の10年～』、45年史と10年史の概要や協会の過去・現在・未来をテーマにした座談会の様子などをまとめた『環保協・県衛連55年の歴史』の2巻構成としました。23年度に年史編集実行委員会を立上げて以来、16回の委員会協議と編集作業を重ね、念願の完成となりました。

完成した年史は、6月に開催した定例の理事会および評議員会で披露し、これまでの歴史と発刊の喜びを分かち合いました。今後は、7月上旬から順次、市町公衛協や県内各地の図書館、全国地区衛生組織連合会や全国労働衛生団体連合会などの関係団体、市町などに配付する予定です。

平成25年度 地区衛生組織活動資金募集



通称

『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、平成25年度で54回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金
総額(円)
8,537,515

地区衛生組織活動資金募集事業、通称『健康感謝募金』は、平成25年度より「環境・健康募金」へと改めました。引き続き、ご協力をお願いいたします。

平成24年度まで

『健康感謝募金』

| 市町名 | 募金額(円) | 達成率(%) |
|--------|-----------|--------|
| 吳市 | 2,568,200 | 45.6 |
| 府中町 | 886,370 | 81.3 |
| 海田町 | 900,000 | 146.4 |
| 熊野町 | 0 | 0.0 |
| 坂町 | 0 | 0.0 |
| 江田島市 | 0 | 0.0 |
| 竹原市 | 0 | 0.0 |
| 大崎上島町 | 0 | 0.0 |
| 大竹市 | 0 | 0.0 |
| 廿日市市 | 2,739,096 | 174.9 |
| 廿日市市佐伯 | 0 | 0.0 |
| 廿日市市吉和 | 0 | 0.0 |
| 廿日市市大野 | 0 | 0.0 |
| 廿日市市宮島 | 210,300 | 460.7 |

| 市町名 | 募金額(円) | 達成率(%) |
|-------|-----------|--------|
| 安芸太田町 | 0 | 0.0 |
| 北広島町 | 0 | 0.0 |
| 安芸高田市 | 0 | 0.0 |
| 東広島市 | 0 | 0.0 |
| 三原市 | 1,171,000 | 53.5 |
| 世羅町 | 0 | 0.0 |
| 尾道市 | 0 | 0.0 |
| 福山市 | 0 | 0.0 |
| 府中市 | 0 | 0.0 |
| 神石高原町 | 0 | 0.0 |
| 三次市 | 0 | 0.0 |
| 庄原市 | 0 | 0.0 |
| その他 | 62,549 | — |
| 合計 | 8,537,515 | 23.1 |

市町別一覧表(平成25年5月末現在)

※この表は、平成25年5月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。

平成25年度から

『環境・健康募金』

環境の日ひろしま大会に出展

地球温暖化や省エネを普及啓発

環境月間である6月2日、広島県庁前広場で「環境の日ひろしま大会」が開催された。8000人の来場者が盛り上がった。

当協会地域活動支援センターは、地球温暖化問題や省エネに関するパネルの展示や省エネ・省資源製品の紹介・展示、ステージイベントなどで大いに盛り上がった。

当協会の貸し出しグッズの紹介を行った。

自転車発電実験では60Wの白熱電球や扇風機、ジユーサー・ミキサーなどを接続し、電気を起

すにはどのくらいのエネルギーが必要かを体感していただいた。

省エネ・省資源は、引き続き私たちが取り組みが広がるようになります。

は今後も、多くの方に取り組みが広がることに力を入れていく。

(地域活動支援センター)



『人力発電所』と銘打った体験コーナーで、自転車発電に挑戦する来場者

| 市町名 | 募金額(円) | 達成率(%) |
|-------|-----------|--------|
| 安芸太田町 | 0 | 0.0 |
| 北広島町 | 0 | 0.0 |
| 安芸高田市 | 0 | 0.0 |
| 東広島市 | 0 | 0.0 |
| 三原市 | 1,171,000 | 53.5 |
| 世羅町 | 0 | 0.0 |
| 尾道市 | 0 | 0.0 |
| 福山市 | 0 | 0.0 |
| 府中市 | 0 | 0.0 |
| 神石高原町 | 0 | 0.0 |
| 三次市 | 0 | 0.0 |
| 庄原市 | 0 | 0.0 |
| その他 | 62,549 | — |
| 合計 | 8,537,515 | 23.1 |